

ゴムローラー（下、 落とし込み）の交換手順

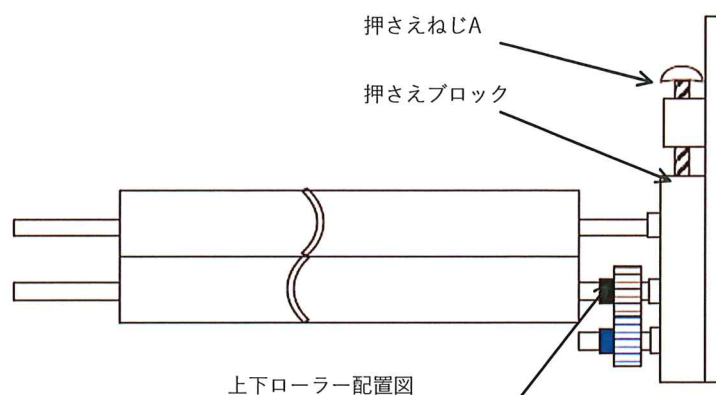
ガム液絞りローラー交換（上・下ゴムローラー、スポンジローラーの交換）

クリーナー部とプロテクター部の2か所にあります

（ゴムローラー交換箇所）



プロテクター部ゴムローラー

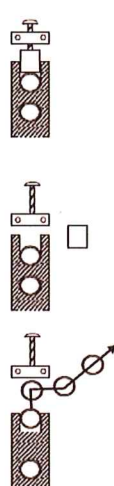
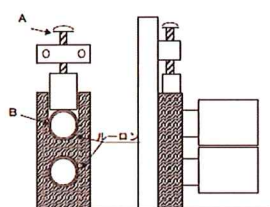


上下ローラー配置図

平ギア

液絞りローラーの外し方

1. メイン電源をOFFにします。
2. 両サイドの押さえねじAを緩め、押さえブロックを取り外します。
3. 上ゴムローラーを持ち上げて外します。
4. 下ゴムローラーを持ち上げて外します。



上ゴムローラーの取外し



下ゴムローラーの取外し

①ドライバーで押さえネジを緩める

清掃

1. ガム液を切る鉄芯をウエスできれいにして下さい。
(中央部にガム液が固着している場合は、ウエスにぬるま湯をつけて拭き取して下さい。)
2. 槽内に付着したガム液等も拭き取して下さい。



鉄芯の清掃

交換ローラーの準備

1. 下ローラー
 - a. 平ギアを六角レンジにて取り外し、新しいローラーへの取り付けます。
 - b. シグナスローラ（スポンジ片）を六角レンジにて取り外し、新しいローラーへ取り付けます。
2. 上ローラー（スポンジローラーの場合もあります）
 - a. 鉄芯にスポンジローラーをハメ込み、六角レンジにて固定する。（ローラー端面を下ローラー端面と合わせて下さい。）



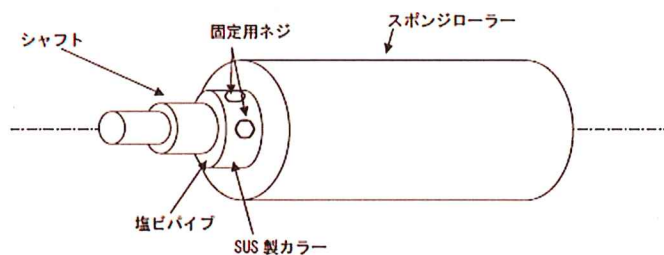
金属の平ギアを新しいローラーに取付け固定します



シグナスローラ（スポンジ片）を古いローラーから取り付けます



鉄芯にスポンジローラーを取り付けて固定します
(SUSカラーのセットネジを締めます)



スポンジローラーは、塩パイプと一体になっています。

スポンジローラー概略図

ローラーの取り付け

1. 取り付けは取り外しの逆順序で取り付けます。
2. 下ローラーの取り付け時は、平ギアをしっかりと噛ませて下さい。
3. 上ローラーを取り付け、押さえコマを入れて押さえネジを当たる程度でネジ込んで下さい。



下ローラーの取り付け
(平ギアを噛ませる)



押さえコマに当たる程度に
ネジ込む

上スポンジローラーと
下ゴムローラーの端面を合わせます

ガム液の塗布状態調整

1. 液量調整：挿入側より4本目のシャワーパイプ液量を絞って下さい。
(液量が多いとスポンジローラーで絞り切れません。ゴムローラー時より液量を少なくして下さい。)
2. ローラー圧調整：現時点、上ローラーの自重で下ローラーに乗っかり押さえコマのあたりに遊びが無い状態です。
左右両側の押さえネジを15分(45°) 締めて下さい。
3. 塗布状態の確認：ヤレ版通してガム液の塗布状態を確認。版面が鈍く光っている、版裏面にムラが無い状態が良好です。
①版面がテカテカ光っている。②筋ムラがある。このような状況では、液量絞る→ローラー圧(押さえネジを締める。)の順で調整願います。
4. 液濃度が濃く乾燥しにくい場合は、プロテクター液に水を加えることで解消する場合があります。



ガム液量を絞る
版面に液が最小量覆っていれば
OKです

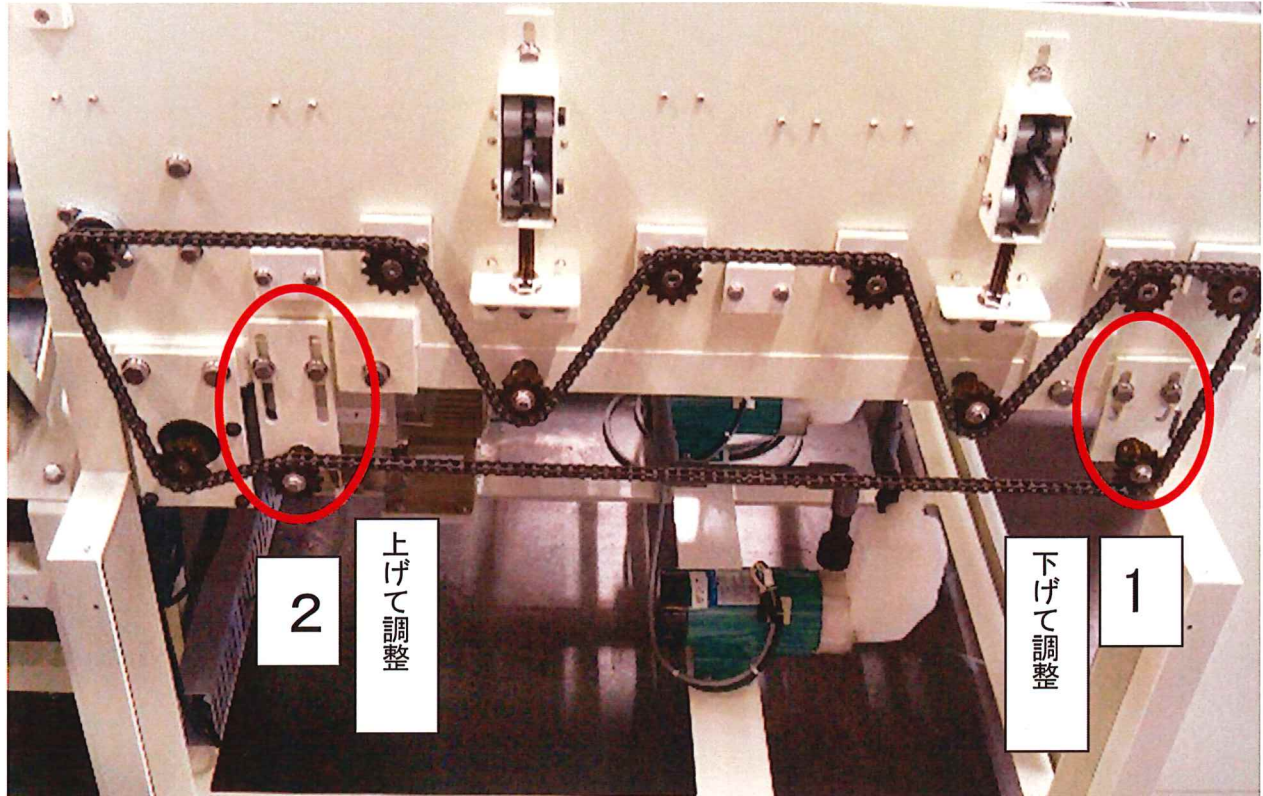


ヤレ版を通して版面の確認
版面が鈍く光る程度でOKです

チェーン調整方法について

チェーンの張り調整方法について

ゴムローラが不規則な動き、一時停止した時、チェーンの異音が鳴る場合の調整方法です。
または駆動ゴムローラ交換後に行う作業です。



A. 調整用スプロケットによる調整

チェーンが緩んできた場合、以下の3方法で調整可能です。

スプロケットの抑えネジを緩めて調整します。

- (1) ①のスプロケットを**下げて**張りを調整してください。
- (2) ②のスプロケットを**上げて**張りを調整してください。
- (3) 上記の場合で調整ができない場合にチェーンが緩んできた場合、赤マル印のスプロケットを交換しても調整は可能です。

それでも調整が困難な場合はチェーンの交換になります。